

集落営農の推進

高知県
の取組

地域(集落)の 現状・課題

- 高齢化・担い手不足
- 経営規模が狭小
- 鳥獣被害
- 耕作放棄地増加

農家の個々の取組だけでは地域の農業や集落を維持できない状況です

- 用水路・耕作道管理が十分でない
- 機械更新時だけが収支があわず投資困難
- 農作業や農地管理を頼む相手がいない

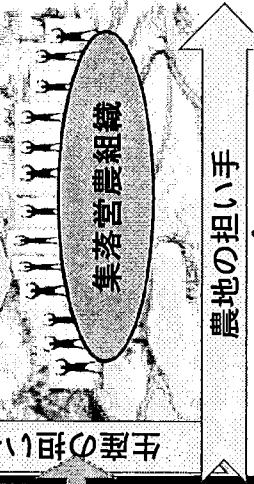
など

地域課題解決の手段

- ① 集落営農組織の育成
- ② 集落営農の推進

地域(集落)農地の担い手

集落営農組織とは、集落の合意のもと、農業機械の共同化、作業委託など共同の生産活動により、地域農地・農業の維持発展に取り組む協働の仕組みです。



集落営農に係る地域の担い手育成

集落営農は、集落の皆で話し合いを考え、農地や農業、地域の発展を目指す活動です。集落営農によって

- 農地の利用調整
- 水路・耕作道の維持管理
- 遊休農地発生防止
- 直販・加工・交流活動
- 作業委託体制整備
- 担い手の育成・確保
- 農業機械・施設共同化
- 各戸の経営規模拡大
- 新たな品目の導入

などの活動に、地域協働で取り組むことができます。

等々地中山直営
環境保全
農地対策
向上対策

集落営農組織活動(例)

タイプ:協業経営(集落一農場)型
活動内容:周年生産園芸品ほか+作業受託+(ブランド産品直販)+(加工)
特徴:協業経営及び周年生産により担い手確保(雇用就業)、コスト削減、生産効率化

タイプ:作業受託型
活動内容:共同利用機械・施設整備(ミニトラクター)+オペレーターによる作業受託体制整備+(園芸品ほか)+(加工)
特徴:コスト削減、生産効率化

タイプ:機械施設共同作業・共同利用型
活動内容:共同利用機械・施設整備
特徴:コスト削減

こうした集落営農組織の多くは、いずれかの形態

県民協会の事業補助
県民協会の補助

- ① 生産・加工 (伝統野菜・農産加工ブランド産品の直販)
 - ② 文化・伝統行事(祭り・食文化(郷土料理))
 - ③ 環境(景観、棚田、施設等)
- ②③を活用した交流活動(地域の応援団づくり)&外部視点の活用

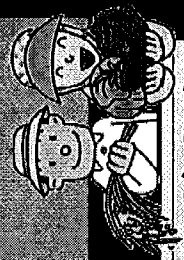
- ◎年金・直販・農業所得+αの追加所得の創出、
- ◎多様な人材参画

農地の保全活用
ふるさと・農業の維持発展の仕組み

担い手の確保
ふるさと・農業を支える人材定着

所得向上
追加所得 → 雇用創出

活力ある地域づくり
ふるさとへの発展・魅力ある地域発信



めざす姿

既存の地域の集まりを活用して話し合い、できることから取り組もう

高知県における集落営農組織の状況

2013/8/7

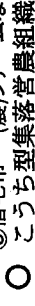
◆ 集落営農の取り組み

- ・ 集落営農組織数179 (H24. 10月末)
- ・ 集落営農組織の最も多いのは 四万十町の83組織
- ・ 集落営農組織のない市町村は 9市町村 (室戸市、土佐市、東洋町、安田町、馬路村、芸西村、大川村、仁淀川町、日高村)



☆ 集落営農組織の法人組織

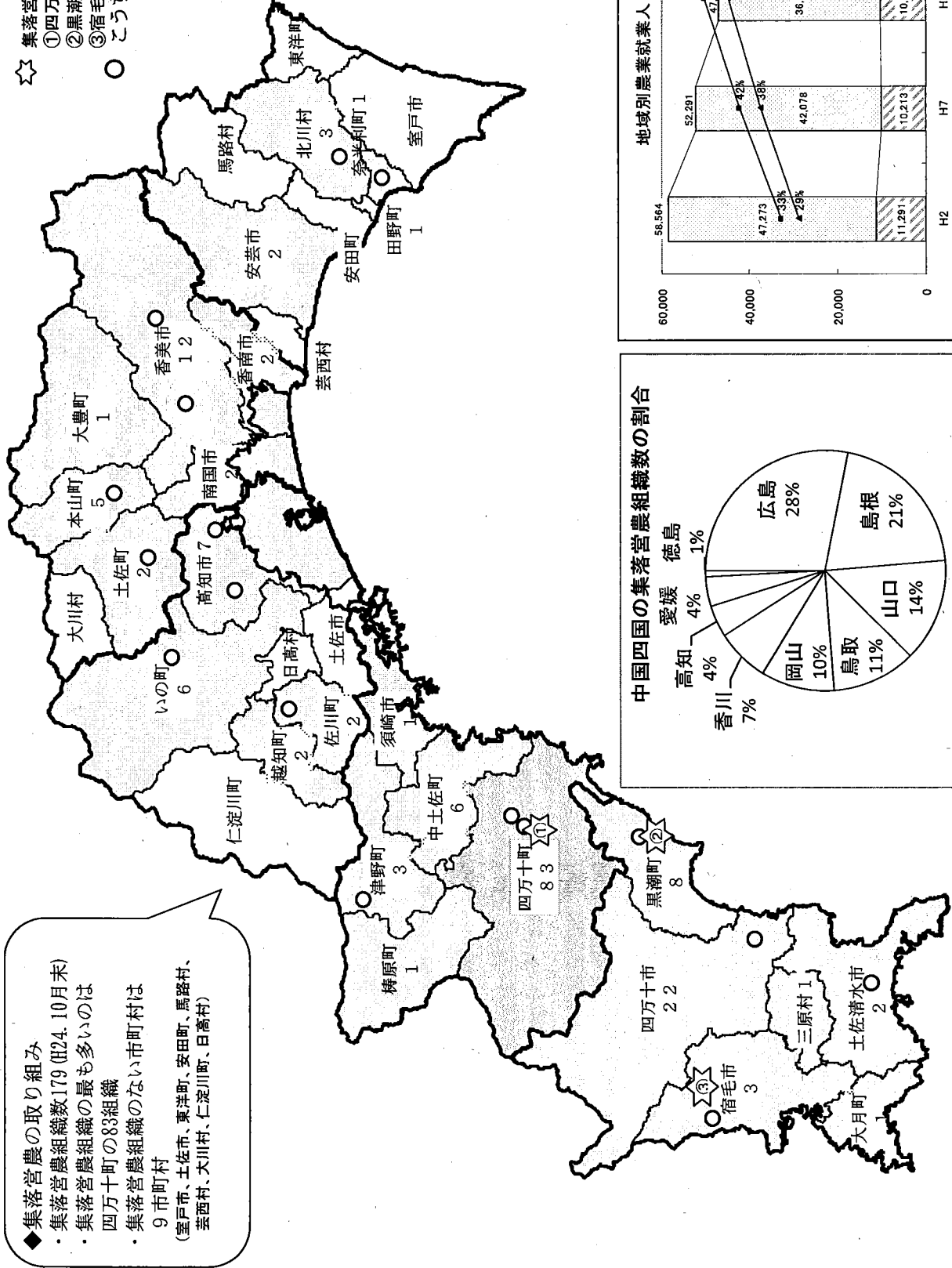
- ① 四万十町 (農)ビレッジ影野
- ② 黒潮町 (農)荷福米・米クラブ
- ③ 宿毛市 (農)ファームなかつの



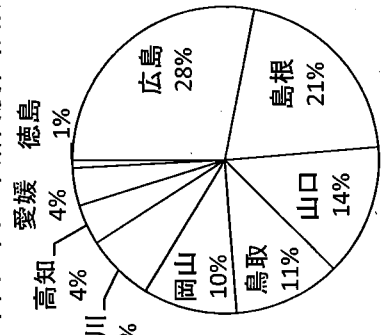
○ こうち型集落営農組織

市町村名	組合名
北川村	くぶつがぎ農組合
香美市	谷相地区集落営農組合
本山町	吉延営農組合
いの町	上東地区営農組合
高知市	七ツ瀬加工組合
佐川町	RAAV (らーぶ) ひらの営農組合
津野町	万生野百石岩農生産組合
四万十町	農研組合法人 ビレッジ影野
黒潮町	農研組合法人 荷福米・米クラブ
土佐清水市	ふぁー夢宗呂川
奈半利町	大平・西ノ平生産組合
香美市	西後入集落営農組合
土佐町	伊勢川営農組合
高知市	梅ノ木ファーム
四万十町	辰綱生産機械組合
宿毛市	篠南集落営農組合
四万十市	若藤営農組合

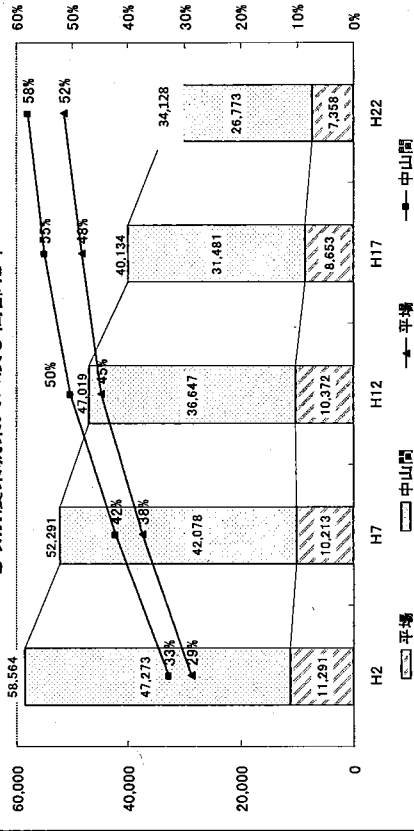
17組織



中国四国の集落営農組織数の割合



地域別農業就業人口及び高齢化率



出典：集落営農実態調査 (農林水産省) H24. 2. 1現在

出典：農林業センサス